東京・八王子駅前で路面発電、八王子市・ミライラボ

#東京 #地域 #関東

2023/11/8 5:00 [有料会員限定]

路面に設置した太陽光パネルで発電し、夜間照明に使う（東京都八王子市）

省エネ製品開発のMIRAI-LABO（ミライラボ、東京都八王子市）は、JR八王子駅南口のペデストリアンデッキ上に太陽光による路面発電装置を設置した。温暖化ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指す八王子市の環境対策事業で、11月から運用を始め、周辺の夜間照明の電力を供給する。路面発電で公共施設の電力を賄うシステムは全国でも珍しい。

半透明で耐久性を備えた樹脂と一体加工した太陽光パネル28枚（広さ約30平方メートル）と蓄電池を設置した。建物の屋根などに設置する結晶系の太陽光パネルは光を反射するが、「アモルファスシリコン」と呼ばれる反射しにくいパネルを採用し、歩行者がまぶしくないようにした。道路などの景観にもなじみやすい。事業費は約3000万円で、同市は東京都の補助金も活用した。

ミライラボは商業施設の駐車場や企業の敷地内などに路面発電を提供しているが、自治体の公共施設向けは初めて。八王子市は市内の公園でも設置を計画しており、ミライラボは今後、自治体向けの受注を強化する計画だ。

路面に設置した太陽光パネルで発電し、夜間照明に使う（東京都八王子市）

省エネ製品開発のMIRAI-LABO（ミライラボ、東京都八王子市）は、JR八王子駅南口のペデストリアンデッキ上に太陽光による路面発電装置を設置した。温暖化ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指す八王子市の環境対策事業で、11月から運用を始め、周辺の夜間照明の電力を供給する。路面発電で公共施設の電力を賄うシステムは全国でも珍しい。

半透明で耐久性を備えた樹脂と一体加工した太陽光パネル28枚（広さ約30平方メートル）と蓄電池を設置した。建物の屋根などに設置する結晶系の太陽光パネルは光を反射するが、「アモルファスシリコン」と呼ばれる反射しにくいパネルを採用し、歩行者がまぶしくないようにした。道路などの景観にもなじみやすい。事業費は約3000万円で、同市は東京都の補助金も活用した。

ミライラボは商業施設の駐車場や企業の敷地内などに路面発電を提供しているが、自治体の公共施設向けは初めて。八王子市は市内の公園でも設置を計画しており、ミライラボは今後、自治体向けの受注を強化する計画だ。